

国士舘大学大学院入学試験問題用紙

修士課程

研究科	専攻	試験科目	参考書等持込
経済学研究科	経済学専攻	西洋経済史	不可

問 以下の問題から1問選択し、1000~1200字程度で回答せよ。

(1) 16世紀以降、スペインは当時新大陸と呼ばれた南北のアメリカ大陸を植民地化し、銀鉱山の発見と採掘を通じて巨大な富をスペイン本国へと持ち帰った。しかし、新大陸から運ばれた銀は長い目で見てスペインの経済的停滞や衰退につながったとも考えられている。なぜ、直接的な富である銀の流入がスペイン経済にとってのマイナスと考えられているのか、当時のスペインの経済また国際関係上置かれている立場などを考察しながら回答せよ。

(2) フランス革命とそれに続くナポレオン戦争はヨーロッパ大陸を混乱に陥れた一方で、19世紀前半におけるヨーロッパの工業化を規定する役割も果たしたとも今日では考えられている。とりわけ制度面でヨーロッパの工業化の枠組みを作り上げる役割は、ナポレオンの存在を抜きにしては考えられないとの見解も存在する。どのような形で19世紀前半以降のヨーロッパ工業化に影響を与えたのかについて説明せよ。

(3) 1930年代、フランクリン・ローズヴェルト大統領の下でアメリカは大恐慌の打撃から回復を図るためのニューディール（政策）を実施した。その内容と、その効果及び限界について詳細に説明せよ。また、その結果アメリカは19世紀後半以降の経済・政治政策から方針を大きく変更させその後の世界経済への関わり方を大きく変える結果ともなったが、その背景及びいかなる形でその結論にたどり着いたのかについても説明せよ。